

高知くらしの護身術

134

クリーニング

出す前に状態確認を

(2009年6月16日掲載原稿)

クリーニングは生活に密着したサービスですが、変色や紛失などのトラブルが少なくありません。

トラブルを避けるために、衣料品をクリーニングに出す際は、必ず点数と状態をクリーニング店と一緒に確認しましょう。ほつれ、しみ、虫食い、切り傷の有無のほか、ベルト等付属品やポケットの中身を取り出すなどの注意も必要です。

そしてクリーニングが仕上がったら出来るだけ早く引き取りに行きましょう。時間が経つとトラブルの原因特定が困難になり解決が難しくなります。数や付属品の有無、色、かたち、風合いなどもよく確認して受け取ってください。

SマークやLDマークを掲示している店では、預かった品物に損傷を与えた場合、クリーニング事故賠償基準をもとに適正に対処することになっています。この基準は業界の自主基準ですが、SマークやLDマークが無い店でも解決の目安になるでしょう。

クリーニングに出せば新品になって返ってくるわけではありません。どうしても落ちない汚れもあります。また、トラブルがあった場合も原因が必ずしもクリーニング店にあるとは限りません。虫食いに気がつかないままクリーニングに出すと穴や傷が目立つ状態で返ってくることがありますし、袋に入れて戻ってきたままの状態で保管したことが変色の原因になることもあります。大切な衣料は、日ごろから手入れを怠らず、預ける際や受け取る際には必ずチェックをしましょう。信頼のできる店を探すことも大切です。